

るるぶ鮎サロン

2023年度第5回例会報告

実施日：2024年3月18日(月)

長浜鉄道スクエアとまち歩き

2023年度 第5回例会は滋賀県長浜市へ出かけました。

今年度最終回は3月18日。東海道線を利用して、車窓の景色を楽しみながらの例会でした。

当日は強風で列車が遅れており、待ち合わせの大垣発10時11分に間に合うかどうかと気をもみながら、やれやれ、予定通り出発できました。

とても冷たい風が吹きつける一日でしたが久しぶりの遠出で旅気分。

米原で北陸線に乗り換え長浜に到着。まずは長浜駅に近い「長浜鉄道スクエア」へ。

日本遺産に指定され大切に保存されている現存最古の駅舎の旧長浜駅です。

東海道線全通前の明治17年(1884年)に長浜～敦賀間が開通、「陸蒸気」の汽笛が響いたと記されています。同時に長浜から大津までの連絡船の運航も開始され、長浜駅には棧橋が設けられて駅の周りは大いに栄えたそうです。当時は宿が28軒、運送業者15店、飛脚業者4軒、人力車は72両を数え、数えきれないほどの荷役作業員がいたとのこと。またカフェや料理店も急増して鉄道のまちとして活気にあふれていたということです。旧駅舎は300円で入館でき、暖炉のある待合室には当時の服装の旅人が立ち、運賃表、旅行鞆や運ばれた米俵なども展示されていました。駅長室もあります。

さらに進むと「鉄道文化館」が併設され鉄道文化の資料館となっていて、蒸気機関車D51形や電化後のED76形が展示されており、乗ってみることができます。

鉄道スクエアを後にし、徒歩約15分の近江牛「せんなり亭 橙」へ。シニアにはちょうどいい量の定食を美味しくいただき、黒壁スクエアを散策、次々荷物が増えてずっしり。おいしい買い物を楽しみ、ケーキとコーヒーで休憩。最後に「元祖堅ポーロ本舗」を訪ねてまた重くなったバッグを下げ、強い向かい風に負けないように駅まで歩きました。

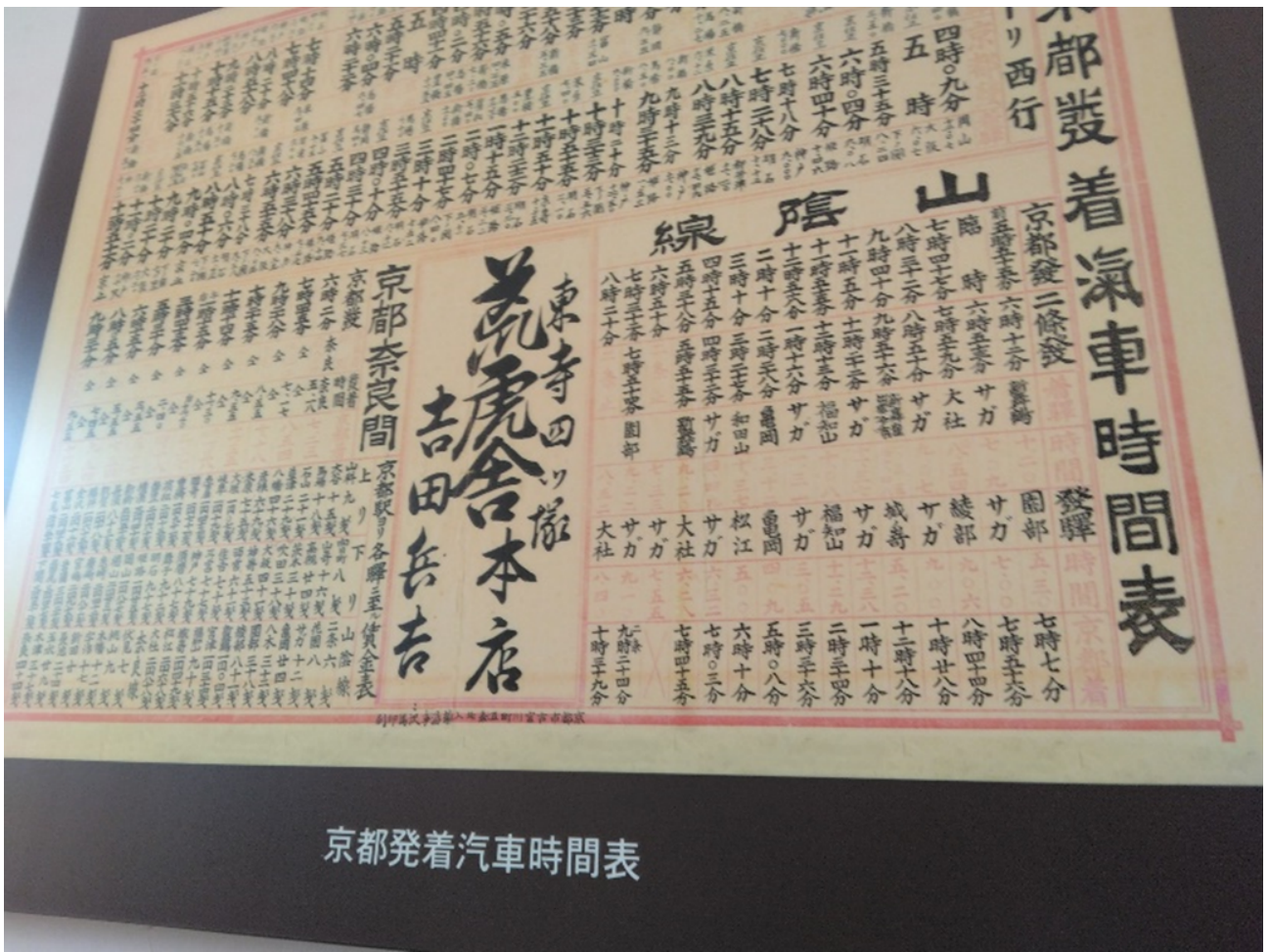
疲れて予定より早い列車に乗車、帰路の車内では来年度の計画を相談し、年間の例会日時を決めました。

今回は体調悪く欠席や、前日に転倒し歩行困難で欠席などがあり、4人での例会となりましたが、1年に1回は遠方へのお出かけを楽しみましょうと気分高揚。

久しぶりに東海道線に乗車し普通列車が混雑していたことに驚きました。若い人も多く旅行鞆やスーツケースの人がたくさん乗車していました。ちょうど北陸新幹線の開業と重なっていたのでその影響なのか、コロナ前の賑わいが戻っていると実感しました。

特急や新幹線も静かで速くて快適だけど、賑やかな普通列車の旅も楽しく気分が若返った一日でした！

平野 記



京都發着汽車時間表



